

丹波篠山市立今田中学校 生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査（以下「市調査」）及び全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

○国語科：どの観点も全国平均や市平均より5P以上上回っており、たいへん良好でした。特に「基礎」学力の項目や「文法・語句」では前年度から10P以上上回り、学力の伸びが見られました。若干「漢字の読み」や「スピーチ」の項目が全体に比べ正答率が下がっていました。

○数学科：数と式とデータの活用の領域について、全国平均・市平均ともに上回っていました。「活用」の学力について前年度の校内平均より9P上回っており、学力の伸びが見られました。「図形」や「関数」の領域において平均を下回っており、課題が見られました。

○生活状況調査：家族からの支えと先生からの支えが全国平均より低かったです。しかし、学級への所属感が高く、また個人の規範意識も学級集団としての規範意識も全国平均より高い値を示しました。

自己肯定感の低い生徒や対人ストレスが大きい生徒が多いことが見えます。これは学校の満足度の低下につながると考えています。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科：1年間コツコツと努力した結果が表れていますので、引き続き「目標」を持って基礎的な学習に取り組んでいきたいと考えています。「分かりやすく伝える」という点において少し弱さが見られましたので、引き続き「プレゼンテーション」や「スピーチ」など文章の構成を組み立てて、人前で発表する活動を取り入れていきたいと思っています。

○数学科：計算では基礎的な学力がついているので今後も繰り返し練習を重ねて力を伸ばしていきたいと考えます。作図やおうぎ形の面積、説明をする問題に課題があり、無回答も多く見られたことから、グループでの学習活動を通し、生徒同士で学び合う時間を増やしていきたいと思っています。

○生活状況調査：結果より、他者への感謝の気持ちが乏しいとみえます。心を育てる指導を行っていききたいと考えます。特に大人とのコミュニケーションを苦手と感じる生徒が多くいます。経験不足が一因と考えます。アサーショントレーニング等を学活等に取り入れることが有効だと思っています。コロナ禍で色々な制限が多くあり、感動体験が少ない世代です。丁寧なサポートをしていくことで心身もよく発達し、他者への感謝の気持ちも感じられるようになると思われます。

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。2年生後半からは、キャリア教育の一環として、進路学習が始まります。ご家庭におかれましても、進路や将来に関して話をする機会を持っていただき、学校と連携しながら、子どもを支えていけますよう、ご協力をお願いいたします。